

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)北千里マンションPJ 新築工	階数	地上11F、地下1F
建設地	吹田市古江台4丁目119番16	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	222 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年10月 予定	評価の実施日	2015年12月10日
敷地面積	1,371 m <sup>2</sup>	作成者	㈱D&D建築設計事務所 野口才樹
建築面積	705 m <sup>2</sup>	確認日	2016年2月10日
延床面積	6,252 m <sup>2</sup>	確認者	㈱D&D建築設計事務所 野口英雄



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

項目	削減率
①参照値	100%
②建築物の取組み	66%
③上記+②以外の	66%
④上記+	66%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 阪急北千里駅前という立地におけるランドマークとしての位置付けを目指し相応しいデザインはもちろん、歩車分離、防犯対策についても十分考慮している。		特になし
<b>Q1 室内環境</b> 住宅性能評価、断熱性能等級4の取得を計画しており、一部Low-Eガラスも採用する事と合わせて熱負荷低減に配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> 階高にゆとりをもたせた事により、一般居室の天井高を2.6m確保した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> メイン接道となる南側道路沿いに緑地帯を設け、周辺環境に配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> エコジョーズ等高効率機器を採用し、エネルギー消費の削減に配慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 路盤材や舗装材に灰融融スラグ材を使用した材料を採用した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地内駐車場からのヘッドライトが周辺に影響しない位置に駐車場を計画した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0105

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

<b>【建物概要】</b>	建物名称	(仮称)北千里マンションPJ 新築工事					
	建設地	吹田市古江台4丁目119番16					
	用途/区分	集合住宅					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					4	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					対象外	

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
省エネ対策		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.3	4	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」のスコアによる評価 建物全体 3.0 住戸・宿泊 5.0	4	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		5.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		4.5
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		2.2
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。		報告する 報告しない
みどり ヒートアイランド対策	③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項	特になし			